

## <白金標準先物、3500 円～3600 円で底固め・・・>



(出所：オアシス)

中国恒大集団の元建て債の償還問題でリスクが緩和を見せ、一時昨年 11 月以来の 3721 円まで高値を試している。しかし FOMC 議事録の公開で早期の利上げ観測や FRB のバランスシートの削減まで踏み込むなどタカ派の内容を受けて、アジア時間帯に株価の下落から一夜にして 3601 円まで売られながら、金利高の金安にも抑えられており、週末には 3527 円まで下値を試している。特に中国政府は「三条紅線（3 本のレッドライン）」と呼ばれる不動産業界の債務規制を行なったが、多くのデフォルトを招きかねない状況から銀行各行に対し不動産融資を第 1 四半期に増やすよう求めるなど開発企業に対する主要な債務規制を緩和している。そのため白金価格を押し下げる要因であった中国のデフォルトリスクが後退し、恒大集団の元建て債の償還リスクも半年延期で合意する事になると、市場は巻き戻しの値動きが強まると予想される。特に CPI の発表を織り込みながら 3550 円を維持する状況下では、下値が限定的と考えるのが妥当となるため、押し目買いの相場に思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD の上昇が止まり、シグナルは上昇を続けるなど、乖離幅が縮小を示している。RCI では短期が長期を下回ったが、下げ渋る中で長期は切り上げており、強気を維持した状態であると思える。

### <データ>

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：481351（前週比-604）

世界プラチナ ETF 残高（トン）：66.13（前週比-0.89）

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 459,800 円(2022 年 1 月 11 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2022 年 1 月 11 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>